

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	長洲町教育委員会 担当課：生涯学習課 社会体育係 電話番号：0968-78-3276
------	--

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	2校	② 生徒数	356人	③ 部活動数	14部活
--------	----	-------	------	--------	------

#### 1.2 地域における現状・課題

- ・ 今後の課題としては、保護者への理解促進である。運営団体への移行に伴う休日への取組システムや経費についての説明を進めることとなるが、全員の理解が得られるかどうかという問題が考えられる。
- ・ さらには、指導者（学校と事務局での案）に対する双方のスムーズな理解が得られるかなどの問題をクリアしていくこと。運営団体へ人材と財源の支援を具体的に進めるための働きかけをどのようにしていくかを前述したと並行して実践していくこと。そして、これまでの部活動未加入者へのアプローチとしてのハード・ソフト両面からの具体的実践も今後の課題として捉えている。

#### 1.3 実践研究における取組目標

○3つの部活動についての休日の地域部活動への完全移行をめざすと同時に、タイミングを計り平日の移行も提案していく。

- ①運営団体と連携しながら、システムへの移行も同時に進める。(NPO 法人長洲にここクラブとの連携)
- ②経費の新システム構築等、条件整備を進める。

○他の種目にも波及していく取組を進める。

○部活動未加入者へのアプローチとして、運営団体のプログラムに新規メニューを設置する。

○地域スポーツ指導者研修会の定着。

(1)地域部活動移行としての3種目を運営団体のプログラムとして位置付け、休日の活動に対して運営を移行期間とする。

- ①生徒は部活動費として、会費である年間6,000円を払い、平日は学校部活動として、休日は運営団体の事業として活動する。
- ②地域部活動の指導者は運営団体の会員(指導者)として活動し、身分保障も運営団体としての位置づけとする。

(2)他種目にも上記(1)の内容で理解を求め、段階的に4種目・5種目…と種目数を増やしていく。(種目数で評価する)

(3)運営団体のプログラムに新たな内容を設ける。

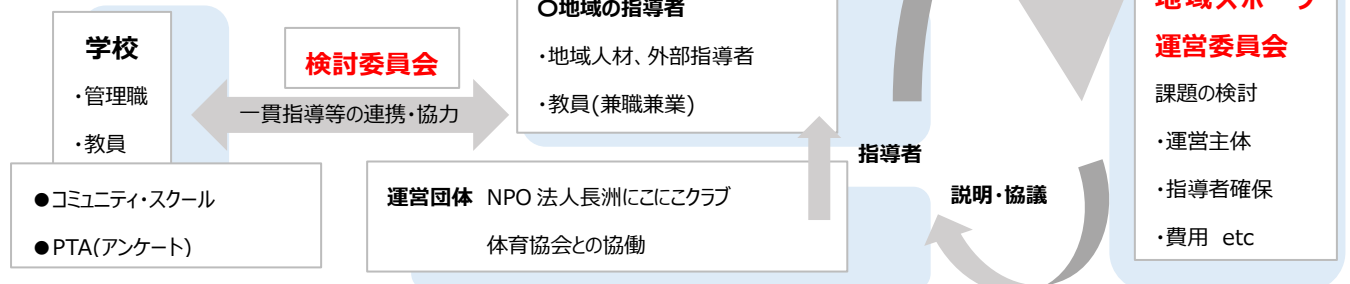
- ①潜在的ニーズに対応したプログラムを新設することで、加入者の増加を評価とする。

※まずは、1つだけ開設し状況把握しながら進める。

(4)地域スポーツ指導者研修会のカリキュラムの設定。

- ①カリキュラム科目の内容検討(持続可能な内容)
- ②講師の選定

#### 1.4 実践研究の運営体制



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

・令和4年度も令和3年度に引き続き検討委員会3回・地域スポーツ運営委員会3回・地域スポーツ指導者研修会2回とアンケート(※今年度は実践研究校ではない長洲町立長洲中学校の全教師・全生徒)を実施した。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	町内全中学校2校のうち1校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	3部活
③ 種目	ソフトテニス、バレーボール、野球

◀主な取組例（１）▶…長洲町立腹栄中学校

① 運営主体	長洲町教育委員会		
② 種目	ソフトテニス	④ 参加者数	14人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	腹栄中学校テニスコート
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	運営団体(NPO法人長洲にここスポーツクラブ)からの指導者		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:5,000円/年額)		

◀主な取組例（２）▶…長洲町立腹栄中学校

① 運営主体	長洲町教育委員会		
② 種目	バレーボール	④ 参加者数	17人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	腹栄中学校体育館
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	運営団体(NPO法人長洲にここスポーツクラブ)からの指導者		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:5,000円/年額)		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）▶

アンケート：中学校部活動に関するアンケート調査(対象…長洲町立長洲中学校の全教師・全生徒)

調査対象期間…令和4年9月1日(木)～16日(金) ※詳細アンケート内容結果は別添資料のとおり。

【教師からの意見】

- ・思い切って学校と切り離し、地域や自治体で運営する。これまでの教職員の善意やボランティアで賄ってきた部分を費用面を含めて参加家庭や自治体で負担する指導者が適正な報酬を得られるようにしてほしい。
- ・部活動を生きがいにされている先生方もいるので、その先生方は積極的に関わってほしいと思う。家庭の事情などでできない場合は顧問から外してほしい。

【生徒からの回答結果より】

- ・部活動に加入した理由が60%以上の生徒が「自分の希望」で、目的も「楽しみたかった」「うまくなりたかった」「体を鍛えたかった」と回答した割合が60%近くあった。
- ・ただ、部活動に所属しない・やめた理由として「自由な時間がほしいから」「やりたいないような部活・クラブがないから」「勉強や塾があるから」の上位3つで70%に迫る結果もあった。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- 地域指導者の資質向上をどう図るか。

⇒令和3・4年度において、2日で3科目・2年6科目と県内のスポーツ栄養学や子どもの発達に合わせたトレーニング方法・外傷予防とさまざまな分野の専門家や大学教授を招聘し、地域指導者のコーチング力や知識力向上に大きく寄与したと考える。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・令和3年度から4年度にかけて行った取組の中で以下のように成果が明らかになった。
- 学校部活動の内容が地域クラブ化へのスタートとなる動きとなった。
- この度の事業で立ち上げた「検討委員会」と「地域スポーツ運営委員会」を「地域スポーツ推進会議」としてつながる組織を再編させるきっかけとなった。
- 運営団体のNPO法人長洲にここスポーツクラブの意識付けと行政との連携意識の高揚につながった。
- 町・議会の「部活動改革」への理解の進展があった。(予算査定・常任委員会・町議会等にて)

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【指導者の確保方策】

⇒そもそも、地域クラブ活動を理解して頂く指導者がいないと始まらない。

令和3年度・4年度の実証事業で指導して頂いた地域の指導者(外部指導者・地域指導者)をまずは継続委嘱する形で進める。

今後の持続可能な形での指導者確保システムについては、以下のように検討・予定している。

- ①町体育協会からの推薦
- ②学校運営協議会(地域学校共同活動)からの推薦
- ③NPO法人長洲にここスポーツクラブHPによる「マッチングサイト」による採用(※令和5年度より実施予定)
- ④町内にある企業への協力依頼

【地域移行の自定化に向けた方策】

- 今後の運営団体はどこがするのか。

⇒総合型地域スポーツクラブ「NPO法人長洲にここスポーツクラブ」

※予算は長洲町で、連携して事業を引き続き行っていく。

- 学校管理下ではないので保険や責任はどうなるのか。

⇒スポーツ安全保険で対応。

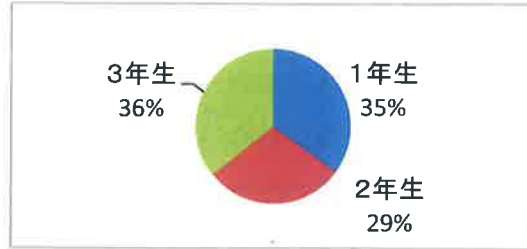
- 学校部活動と地域部活動の一貫指導・協力はどうなっているのか。

⇒学校(部活動指導顧問の先生方)と外部指導者(地域クラブ活動)の連絡体制はできてはいるが、より強化するために令和5年度は町に「コーディネーター」を配置し、運営主体・運営団体と各学校等とで、地域のスポーツ環境を構築して、地域を通じて育った次世代の指導者の確保に繋げていきたい。

# 令和4年度 アンケート結果【生徒用】長洲中

## 問1 あなたの学年は？

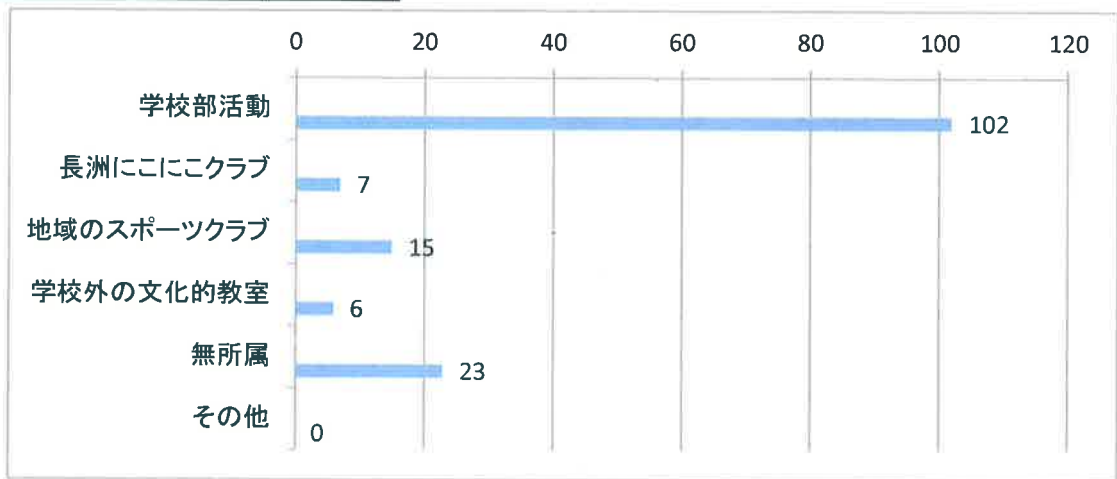
1年生	49
2年生	41
3年生	50



## 問2 現在どんな部やクラブチーム等に所属しているか？

学校部活動	102
長洲にこにこクラブ	7
地域のスポーツクラブ	15
学校外の文化的教室	6
無所属	23
その他	0

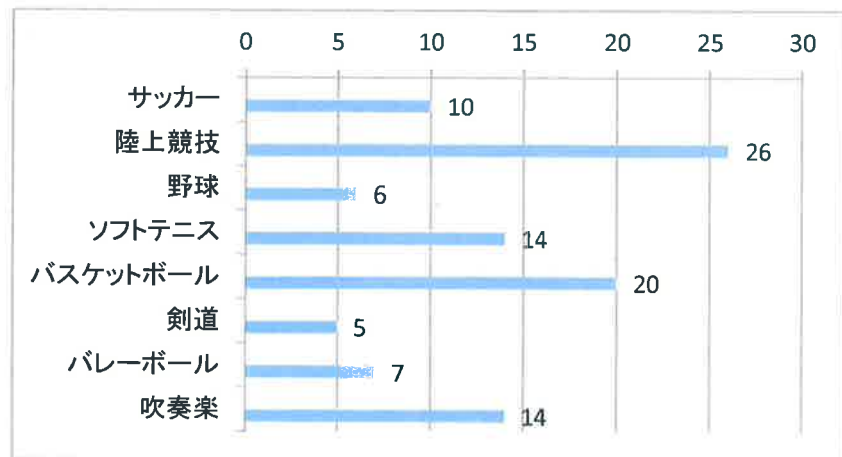
その他  
・習字、・ピアノ



## 問3 具体的な種目は？

### ◆ 学校部活動

サッカー	10
陸上競技	26
野球	6
ソフトテニス	14
バスケットボール	20
剣道	5
バレーボール	7
吹奏楽	14



### ◆ 学校外種目

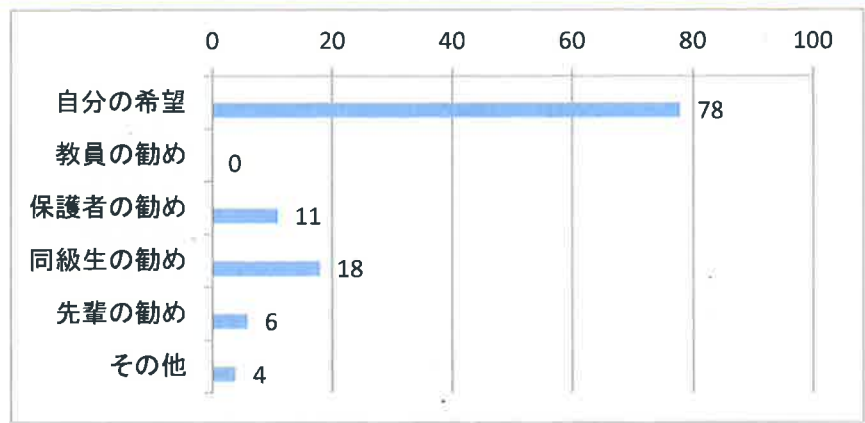
長洲にこにこC	2	バレーボール・ビーチ・バドミントン
地域スポーツC	26	陸上競技・柔道・バレー・バスケ・水泳・野球・チアリーディング
文化的教室	4	習字・ピアノ

問4 加入した理由は?

自分の希望	78
教員の勧め	0
保護者の勧め	11
同級生の勧め	18
先輩の勧め	6
その他	4

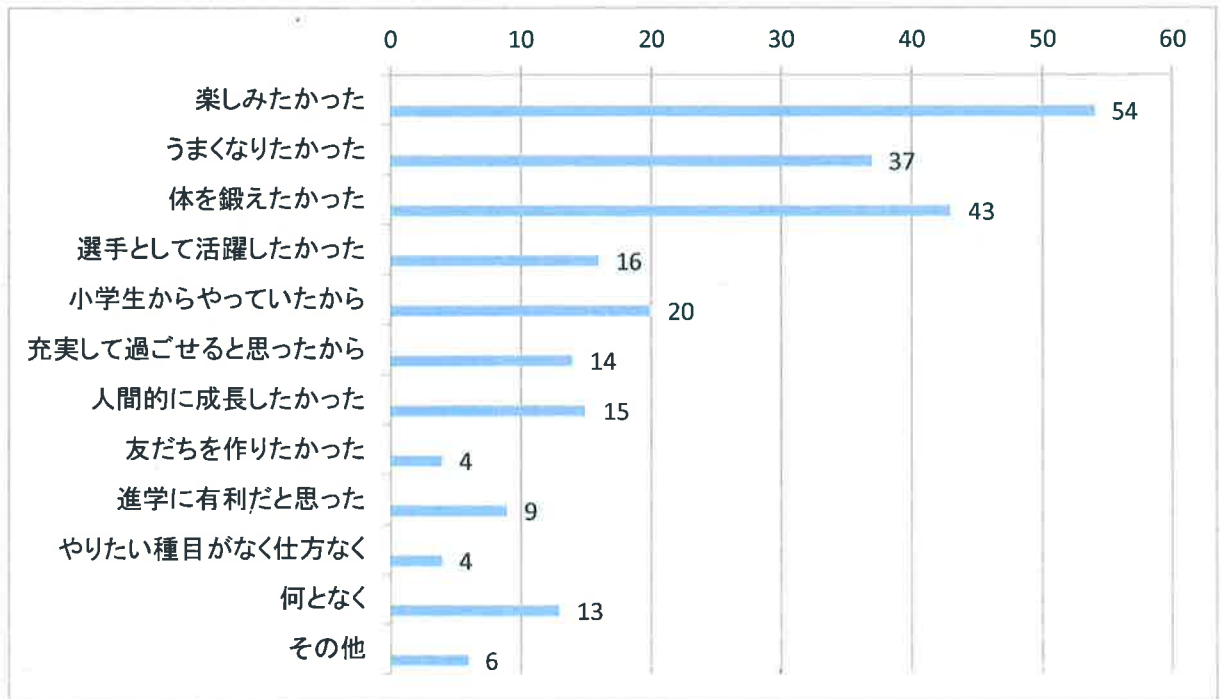
その他

- ・じいちゃんに勧められる
- ・将来のため
- ・楽しそうだから
- ・日頃から音楽に触れているから



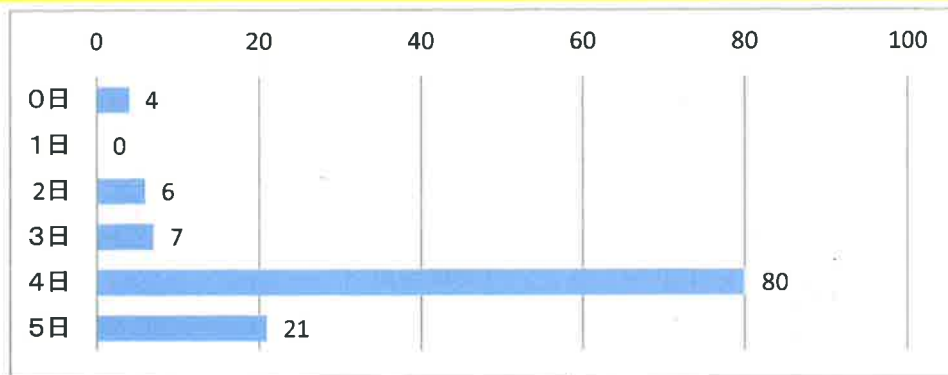
問5 加入した目的は? (複数回答可)

楽しみたかった	54
うまくなりたかった	37
体を鍛えたかった	43
選手として活躍したかった	16
小学生からやっていたから	20
充実して過ごせると思ったから	14
人間的に成長したかった	15
友だちを作りたかった	4
進学に有利だと思った	9
やりたい種目がなく仕方なく	4
何となく	13
その他	6



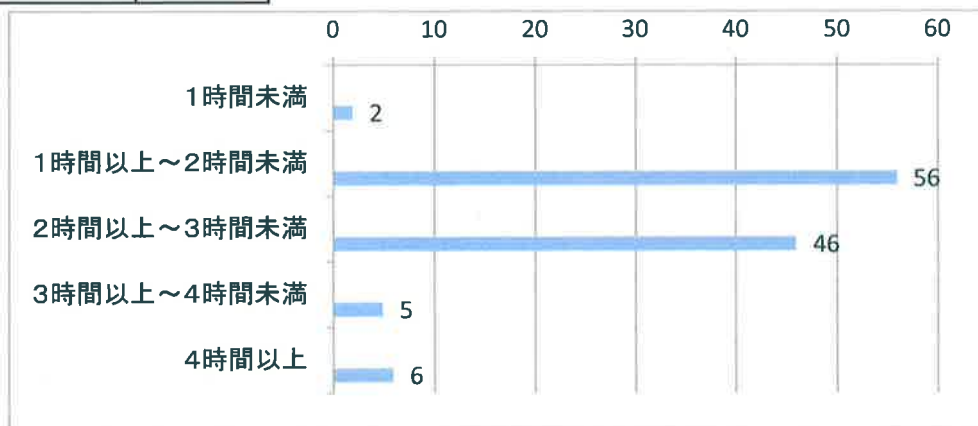
**問6 所属する活動の平日(月～金)の活動日は平均何日ですか?**

0日	4
1日	0
2日	6
3日	7
4日	80
5日	21



**問7 所属する活動の平日(月～金)の一日当たりの平均練習時間は?**

1時間未満	2
1時間以上～2時間未満	56
2時間以上～3時間未満	46
3時間以上～4時間未満	5
4時間以上	6

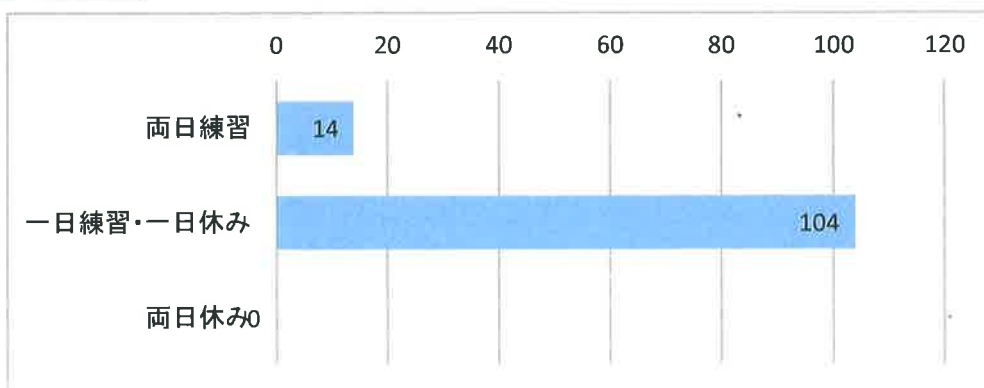


**問8 問7での平日(月～金5日間)の合計練習時間は?**

まちまちの時間ではあったが、平均 6.4 時間

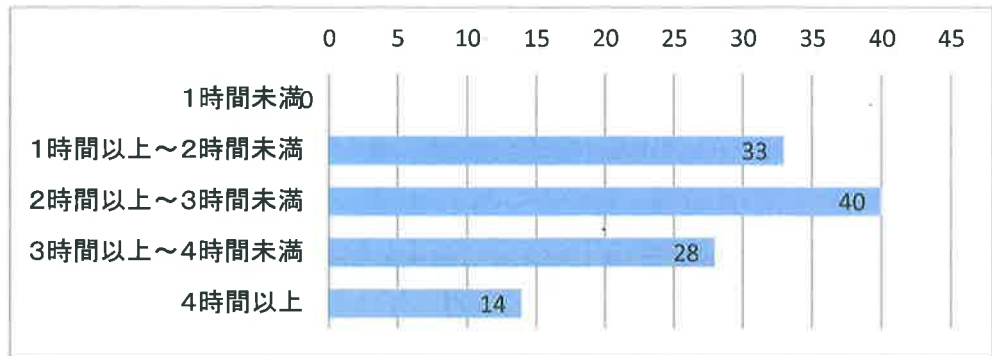
**問9 部活動の休日(土・日)の練習日数(長期休暇・夏休みは除く)は?**

両日練習	14
一日練習・一日休み	104
両日休み	0



問10 部活動の休日(土・日)の一日当たりの練習時間は?

1時間未満	0
1時間以上～2時間未満	33
2時間以上～3時間未満	40
3時間以上～4時間未満	28
4時間以上	14



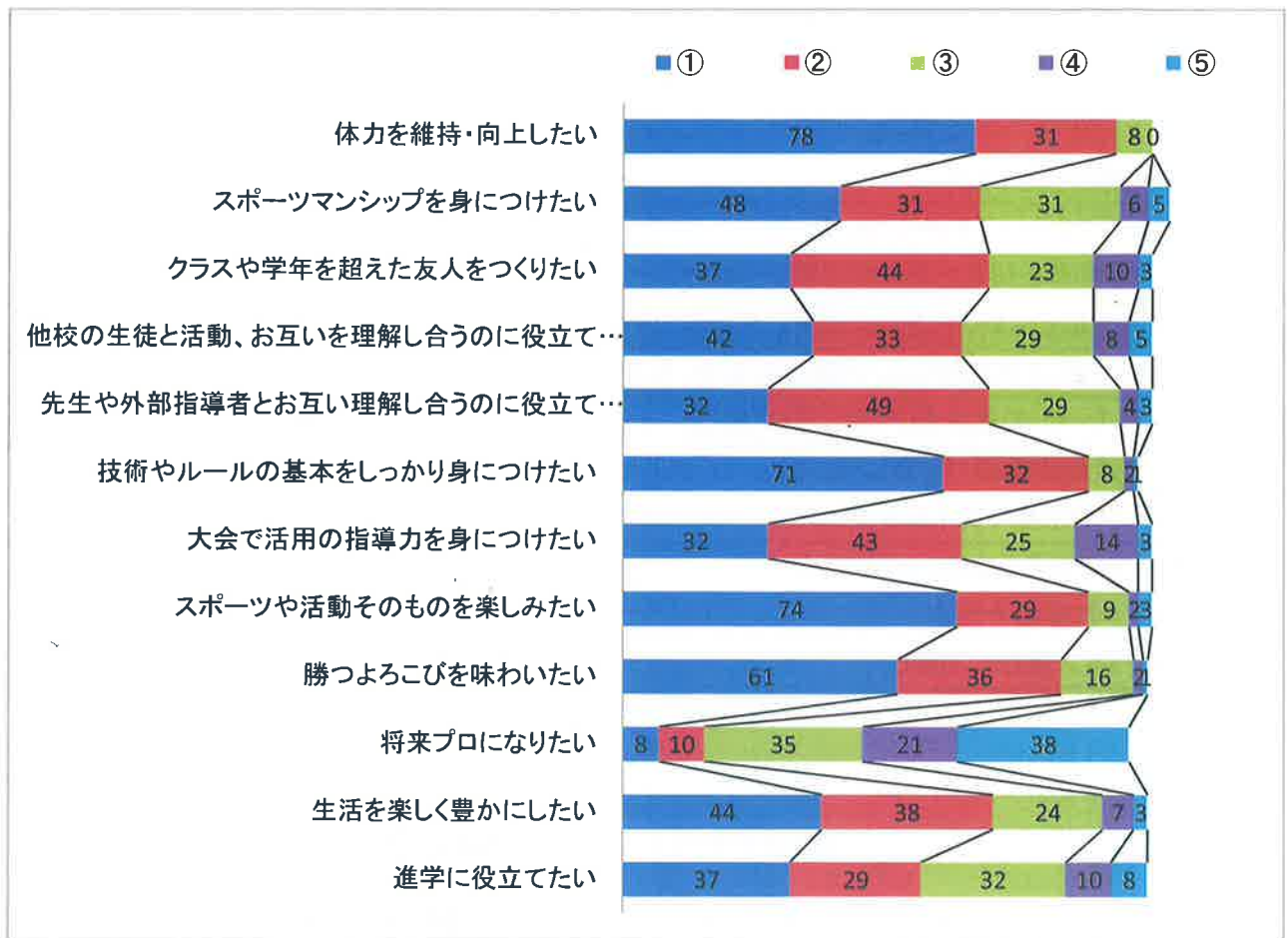
問11 問10での休日(土・日)の練習時間の合計は? (問9との関係も含む)

平均6時間

問12 あなたが所属する部活動を通じてどんなことを得たいと思っているか?

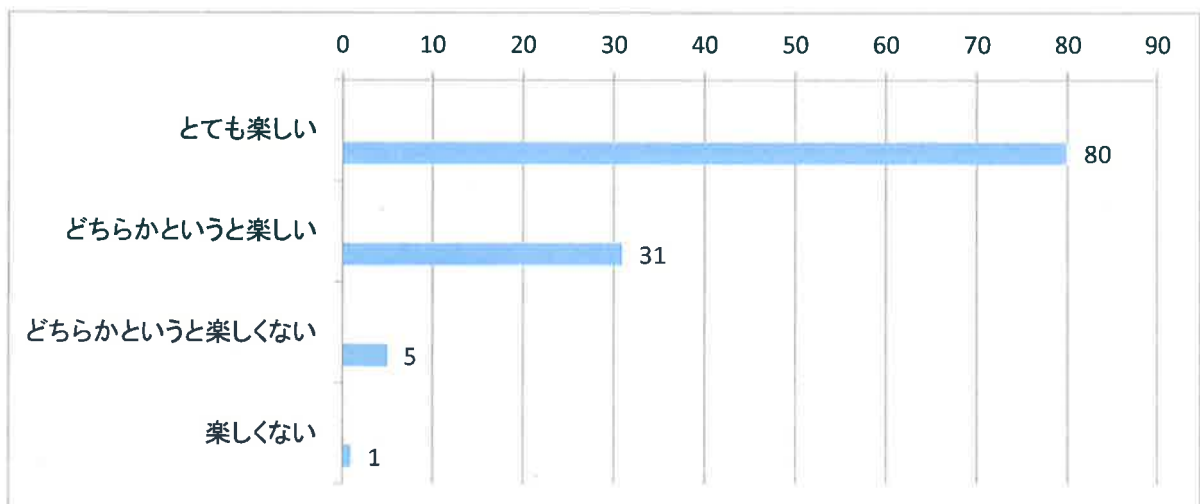
①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤そう思わない

	①	②	③	④	⑤
体力を維持・向上したい	78	31	8	0	0
スポーツマンシップを身につけたい	48	31	31	6	5
クラスや学年を超えた友人をつくりたい	37	44	23	10	3
他校の生徒と活動、お互いを理解し合うのに役立てたい	42	33	29	8	5
先生や外部指導者とお互い理解し合うのに役立てたい	32	49	29	4	3
技術やルールの基本をしっかり身につけたい	71	32	8	2	1
大会で活用の指導力を身につけたい	32	43	25	14	3
スポーツや活動そのものを楽しみたい	74	29	9	2	
勝つよろこびを味わいたい	61	36	16	2	1
将来プロになりたい	8	10	35	21	38
生活を楽しく豊かにしたい	44	38	24	7	3
進学に役立てたい	37	29	32	10	8



**問13 所属している活動は楽しいか?**

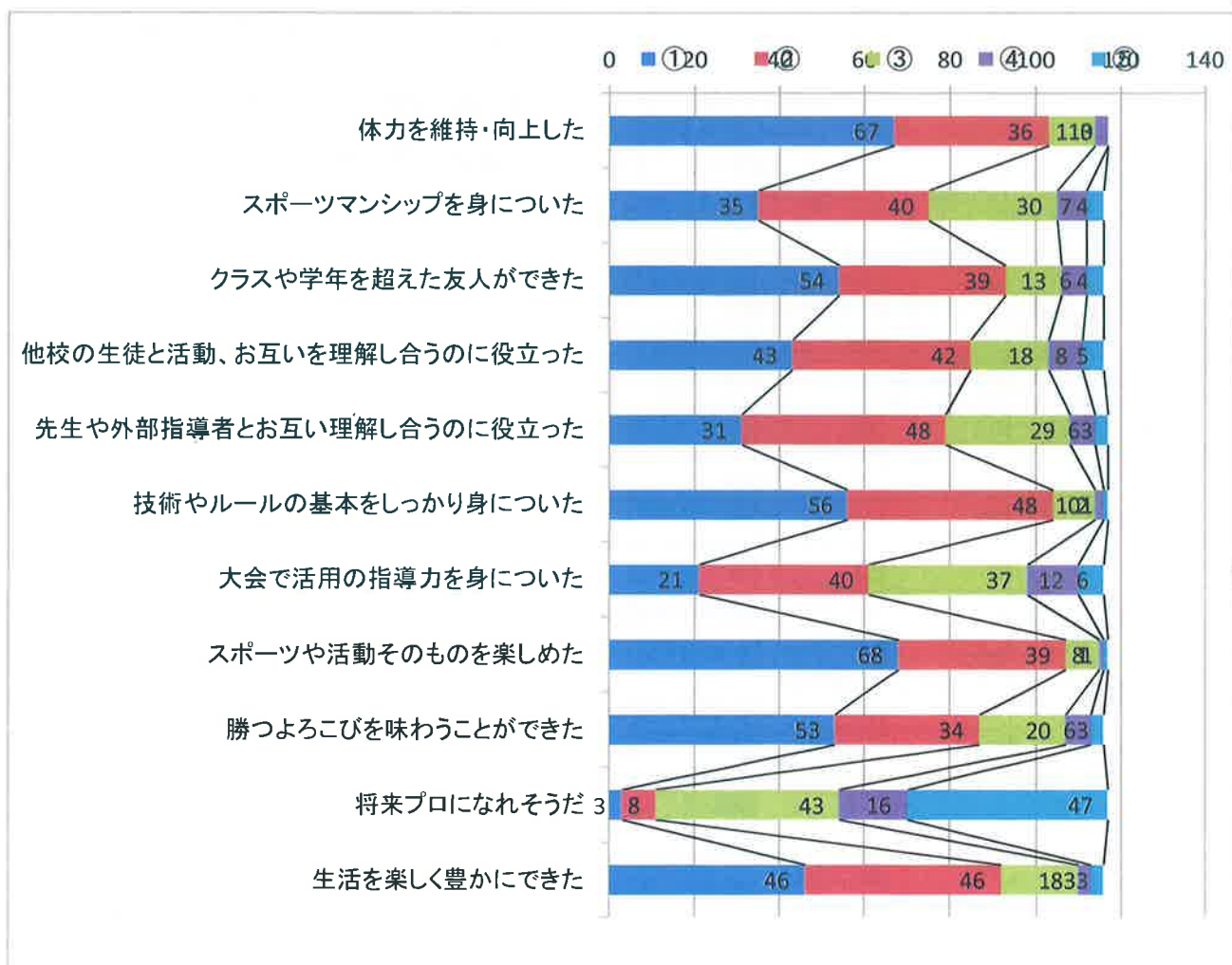
とても楽しい	80
どちらかという楽しい	31
どちらかという楽しくない	5
楽しくない	1



問14 あなたが所属する部活動を通じて、実際どんなことを得たか？

①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤そう思わない

	①	②	③	④	⑤
体力を維持・向上した	67	36	11	3	0
スポーツマンシップを身についた	35	40	30	7	4
クラスや学年を超えた友人ができた	54	39	13	6	4
他校の生徒と活動、お互いを理解し合うのに役立った	43	42	18	8	5
先生や外部指導者とお互い理解し合うのに役立った	31	48	29	6	3
技術やルールの基本をしっかりと身についた	56	48	10	2	1
大会で活用の指導力を身についた	21	40	37	12	6
スポーツや活動そのものを楽しめた	68	39	8	1	1
勝つよろこびを味わうことができた	53	34	20	6	3
将来プロになれそうだと	3	8	43	16	47
生活を楽しく豊かにできた	46	46	18	3	3

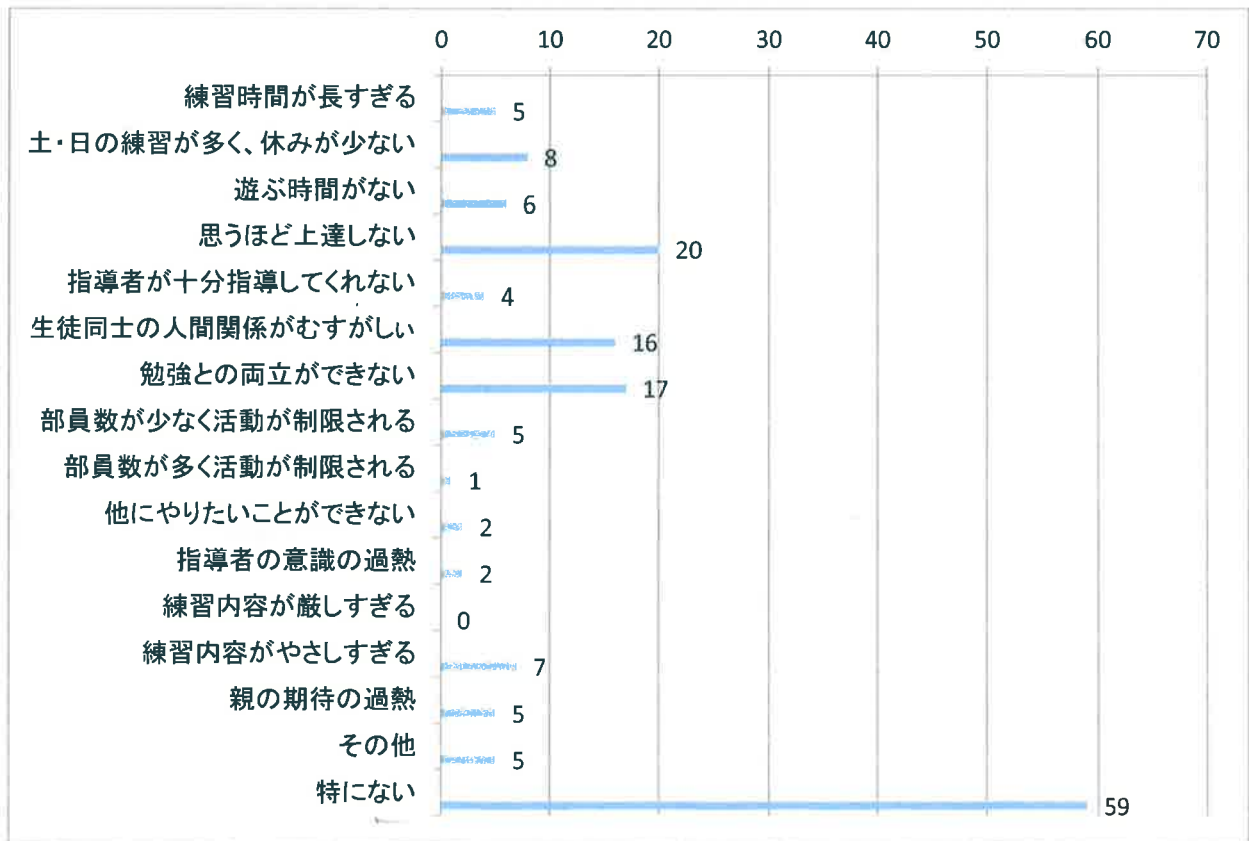




問15 活動していて悩んでいることは? (複数回答可)

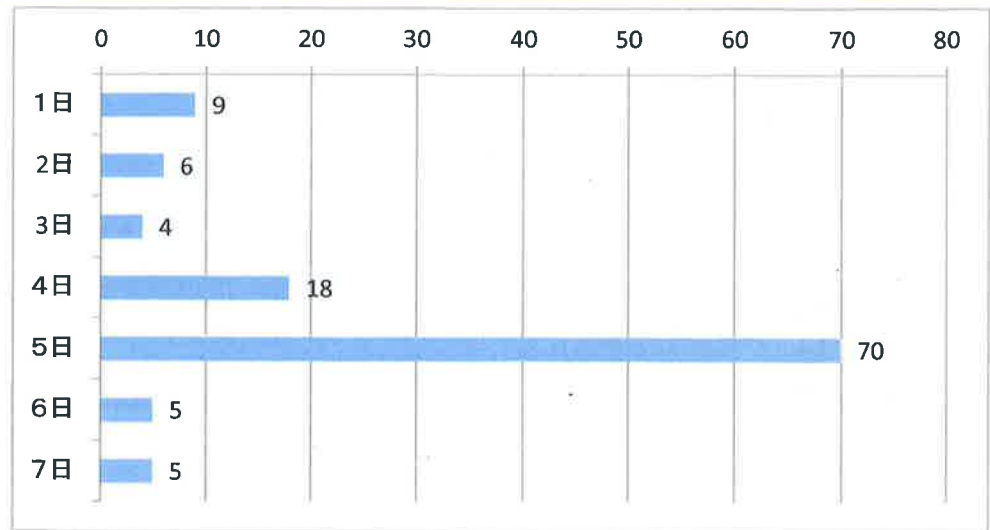
練習時間が長すぎる	5
土・日の練習が多く、休みが少ない	8
遊ぶ時間がない	6
思うほど上達しない	20
指導者が十分指導してくれない	4
生徒同士の間人間関係がむずかしい	16
勉強との両立ができない	17
部員数が少なく活動が制限される	5
部員数が多く活動が制限される	1
他にやりたいことができない	2
指導者の意識の過熱	2
練習内容が厳しすぎる	0
練習内容がやさしすぎる	7
親の期待の過熱	5
その他	5
特になし	59

その他  
 ・顧問の態度  
 ・ちゃんとしていない人がいる  
 ・部員がちゃんと来なすぎる  
 ・記録が下がってきた  
 ・練習をちゃんとしていない人がいる



問16 あなたは、週当たりの活動日数は何日が適当か？

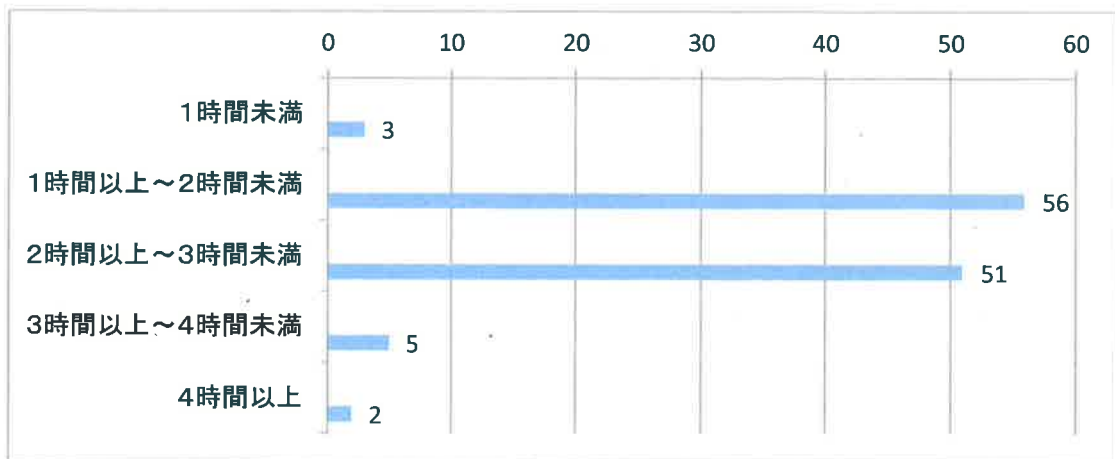
1日	9
2日	6
3日	4
4日	18
5日	70
6日	5
7日	5



月	79
火	96
水	58
木	84
金	91
土	96
日	15

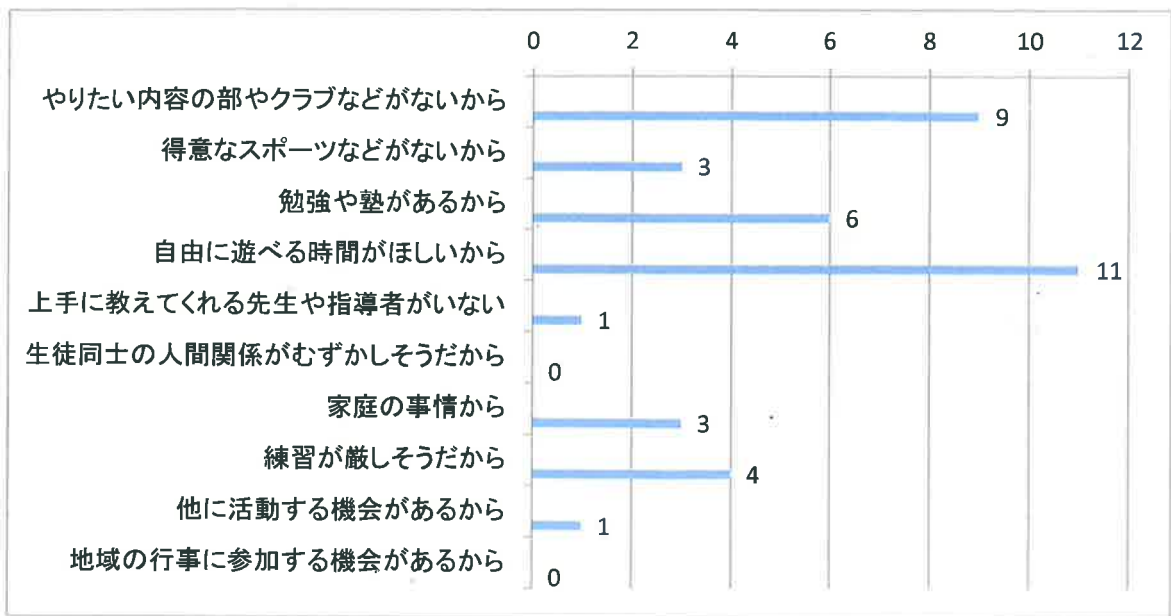
問17 あなたは、平日一日当たりの活動時間は何時間が適当だと思うか？

1時間未満	3
1時間以上～2時間未満	56
2時間以上～3時間未満	51
3時間以上～4時間未満	5
4時間以上	2



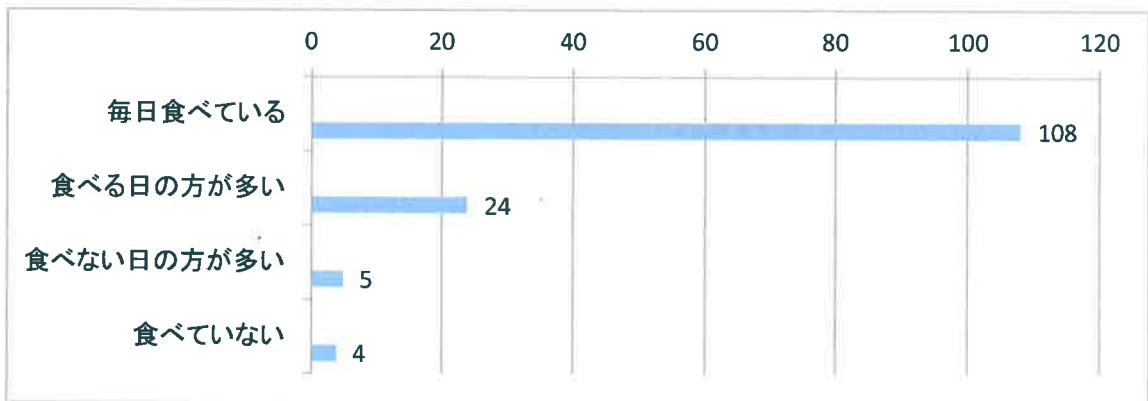
問18 あなたが、部活動等に所属しない、またはやめた理由は何か？（複数回答可）

やりたい内容の部やクラブがないから	9
得意なスポーツがないから	3
勉強や塾があるから	6
自由に遊べる時間がほしいから	11
上手に教えてくれる先生や指導者がいない	1
生徒同士の人間関係がむずかしそうだから	0
家庭の事情から	3
練習が厳しそうだから	4
他に活動する機会があるから	1
地域の行事に参加する機会があるから	0



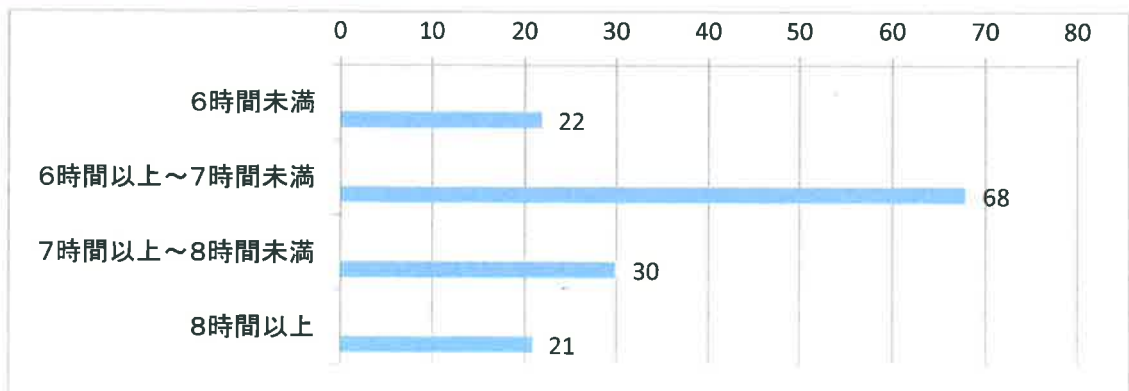
**問19 毎日の朝食の状況を尋ねる。(全生徒回答)**

毎日食べている	108
食べる日の方が多い	24
食べない日の方が多い	5
食べていない	4



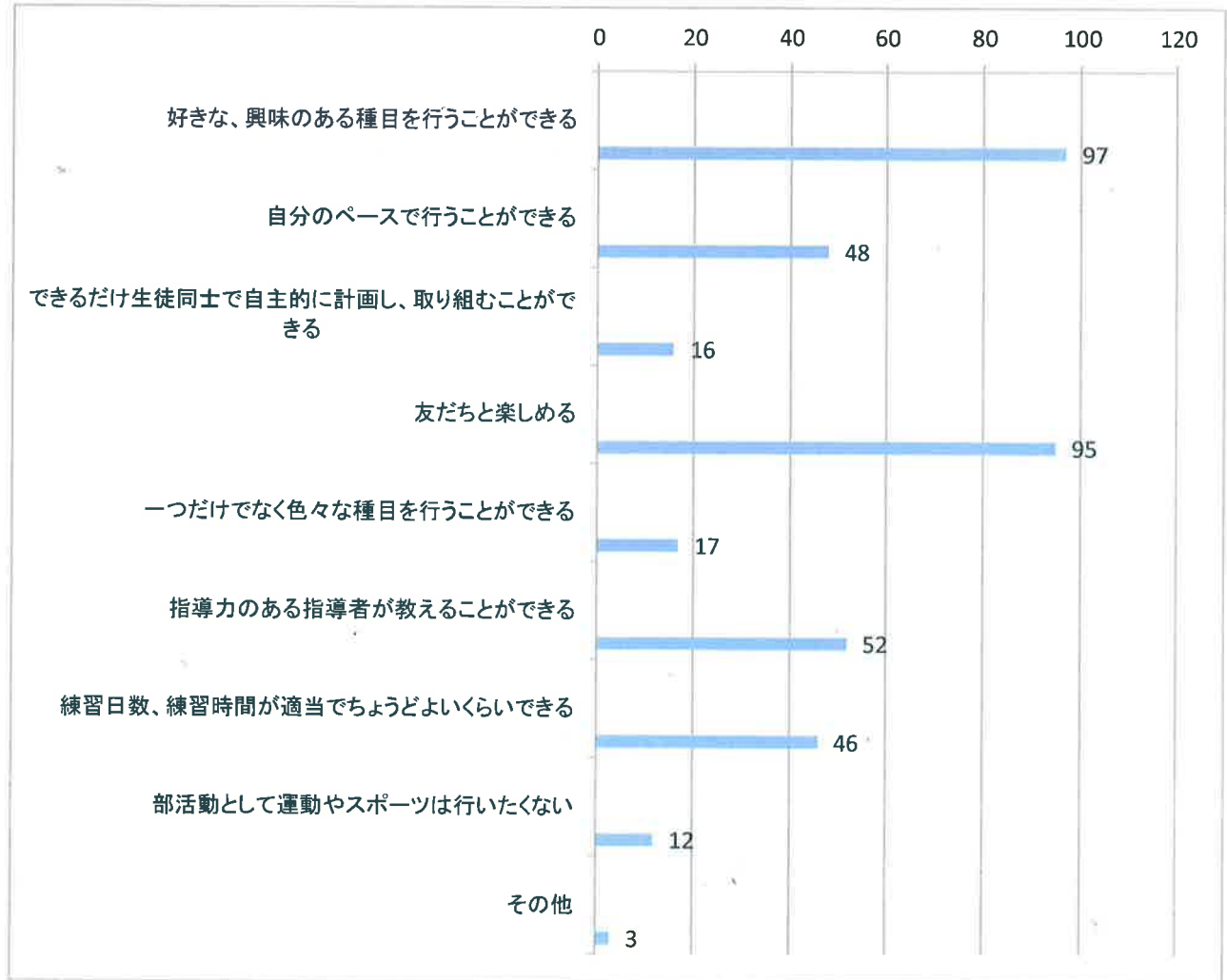
**問20 平日の睡眠時間の平均時間は？**

6時間未満	22
6時間以上～7時間未満	68
7時間以上～8時間未満	30
8時間以上	21



問21 どのような条件があれば、運動部活動やスポーツクラブに参加したいか？（複数回答可）

好きな、興味のある種目を行うことができる	97
自分のペースで行うことができる	48
できるだけ生徒同士で自主的に計画し、取り組むことができる	16
友だちと楽しめる	95
一つだけでなく色々な種目を行うことができる	17
指導力のある指導者が教えることができる	52
練習日数、練習時間が適当でちょうどよいくらいできる	46
部活動として運動やスポーツは行いたくない	12
その他	3

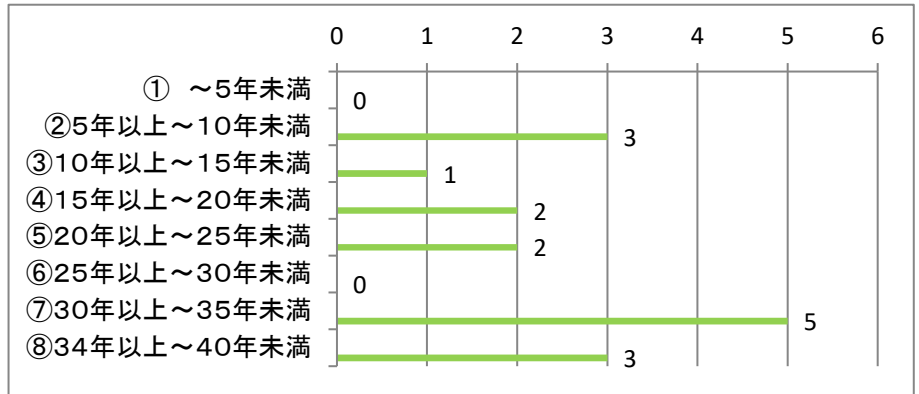


# アンケート結果【教員用】長洲中

## 問1 あなたの教員歴は何年ですか？

① ~5年未満	0
②5年以上~10年未満	3
③10年以上~15年未満	1
④15年以上~20年未満	2
⑤20年以上~25年未満	2
⑥25年以上~30年未満	0
⑦30年以上~35年未満	5
⑧34年以上~40年未満	3

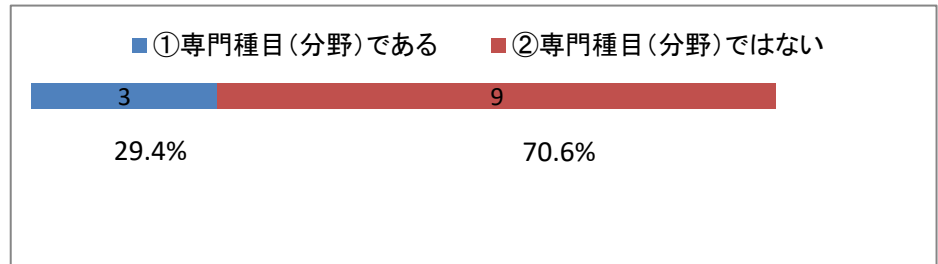
計16人



## 問2 あなたが現在顧問として関わっている部活動種目はあなた自身の専門種目ですか？

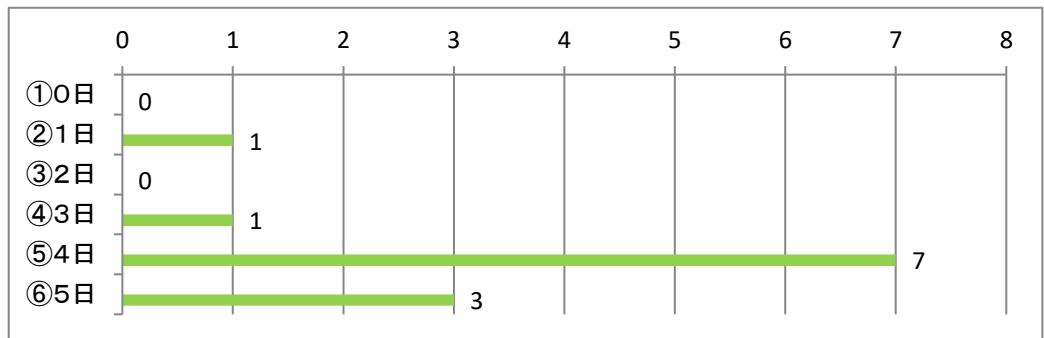
①専門種目(分野)である	3
②専門種目(分野)ではない	9

16人中、12人が指導。「4人は指導していない」との回答



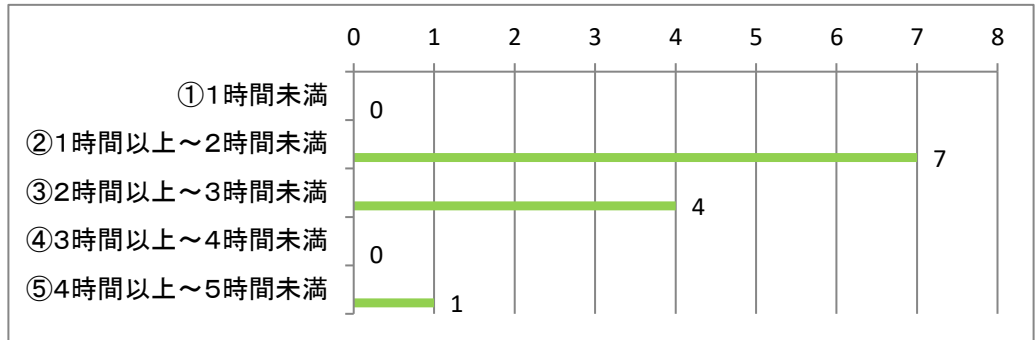
## 問3 平日(月~金)の活動日数の平均は？

①0日	0
②1日	1
③2日	0
④3日	1
⑤4日	7
⑥5日	3



**問4 あなたが指導する部活動の平日一日当たりの練習に費やす時間の平均は?**

①1時間未満	0
②1時間以上～2時間未満	7
③2時間以上～3時間未満	4
④3時間以上～4時間未満	0
⑤4時間以上～5時間未満	1

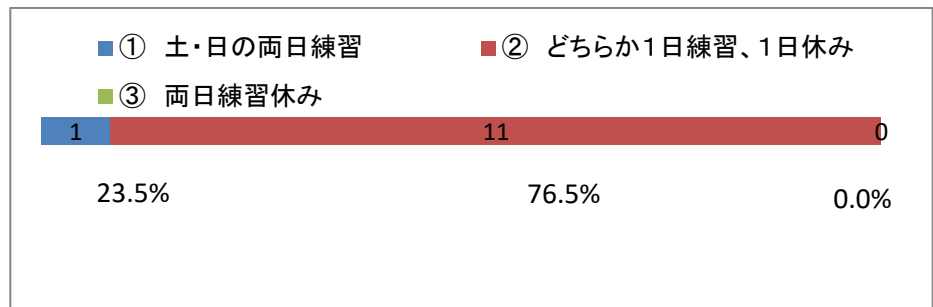


**問5 平日(月～金)1週間の練習に費やしている時間はどのくらいですか?**

○ 平均6.2時間程度。1.5時間～12.5時間の幅があった。

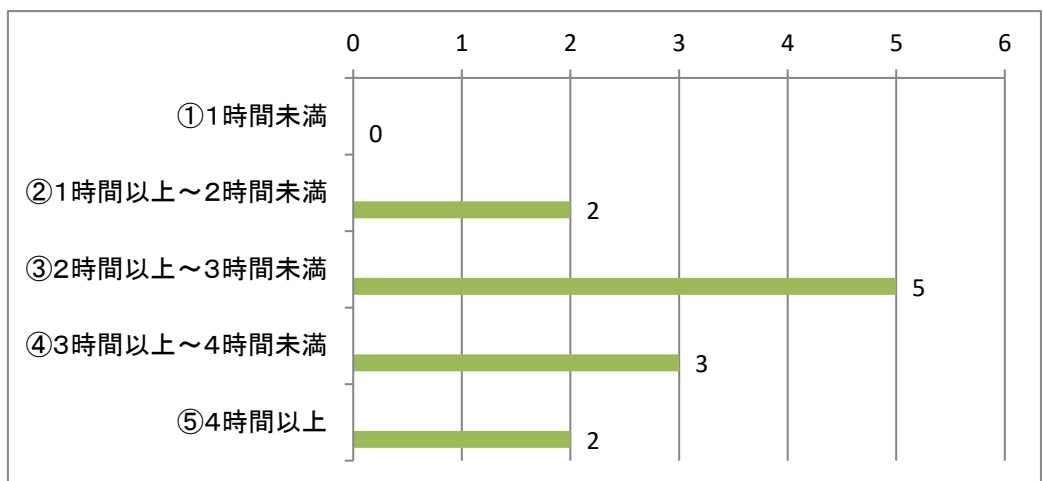
**問6 休日(土日)の練習日数について**

① 土・日の両日練習	1
② どちらか1日練習、1日休み	11
③ 両日練習休み	0



**問7 土活動の休日(土・日)の1日当たりの練習に費やしている時間は?**

①1時間未満	0
②1時間以上～2時間未満	2
③2時間以上～3時間未満	5
④3時間以上～4時間未満	3
⑤4時間以上	2

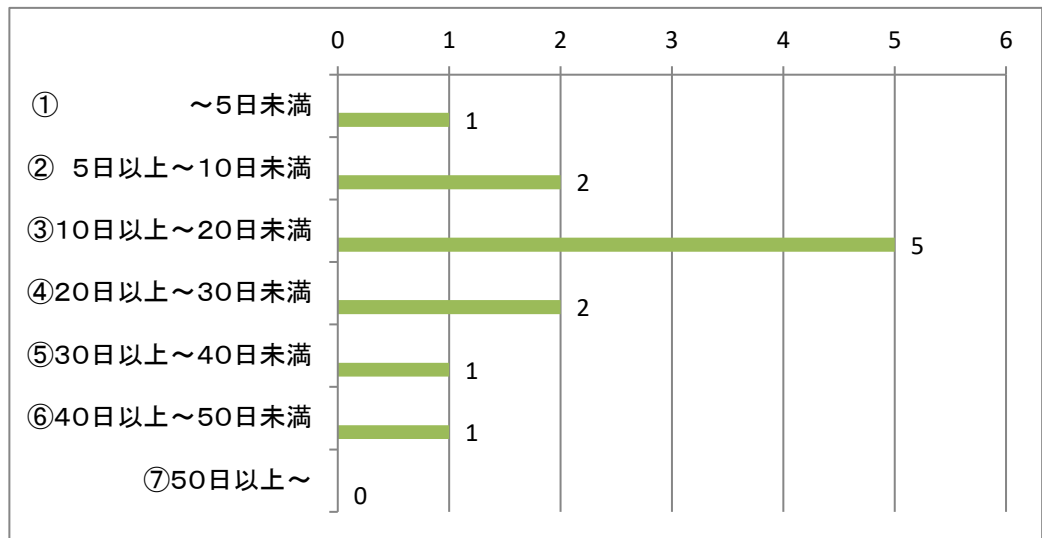


**問8 問7で、たずねた休日(土・日)の練習に費やしている時間の合計**

- 平均4.3時間程度。2時間～12時間の幅があった。
- 個人差(競技種目)での差があった。

**問9 あなたは学校外での試合や遠征の日数は年間で費やしている日数**

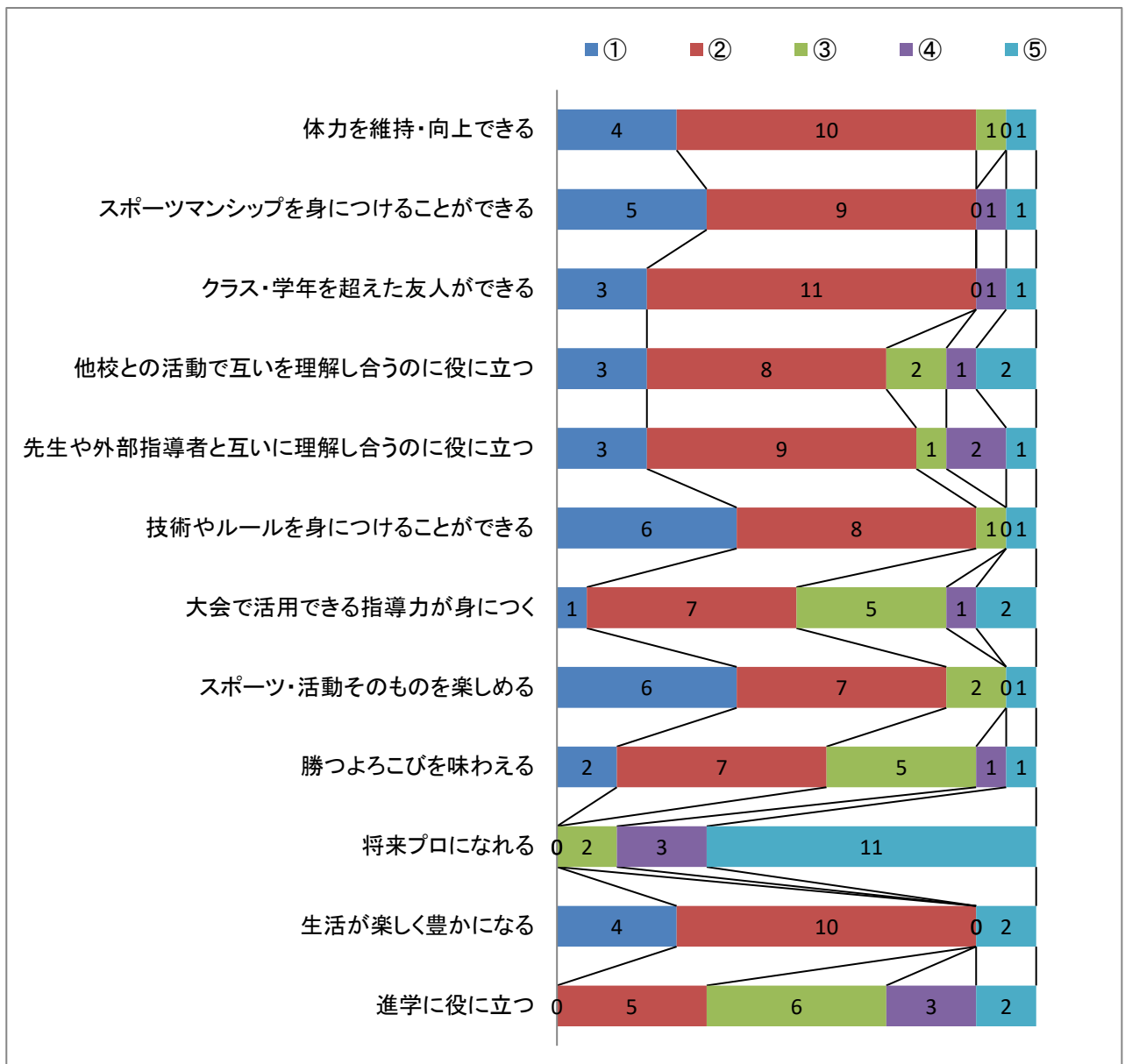
① ~5日未満	1
② 5日以上~10日未満	2
③ 10日以上~20日未満	5
④ 20日以上~30日未満	2
⑤ 30日以上~40日未満	1
⑥ 40日以上~50日未満	1
⑦ 50日以上~	0



問10 部活動の「意義」について

①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤そう思わない

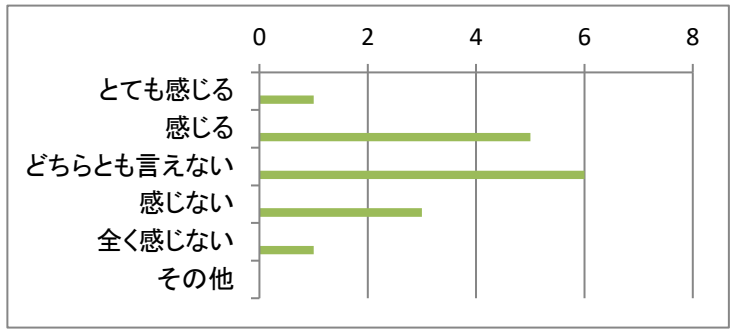
	①	②	③	④	⑤
体力を維持・向上できる	4	10	1	0	1
スポーツマンシップを身につけることができる	5	9	0	1	1
クラス・学年を超えた友人ができる	3	11	0	1	1
他校との活動で互いを理解し合うのに役に立つ	3	8	2	1	2
先生や外部指導者と互いに理解し合うのに役に立つ	3	9	1	2	1
技術やルールを身につけることができる	6	8	1	0	1
大会で活用できる指導力が身につく	1	7	5	1	2
スポーツ・活動そのものを楽しめる	6	7	2	0	1
勝つよろこびを味わえる	2	7	5	1	1
将来プロになれる	0	0	2	3	11
生活が楽しく豊かになる	4	10	0	0	2
進学に役に立つ	0	5	6	3	2





**問11 部活動への取り組みとして、やりがいを感じますか**

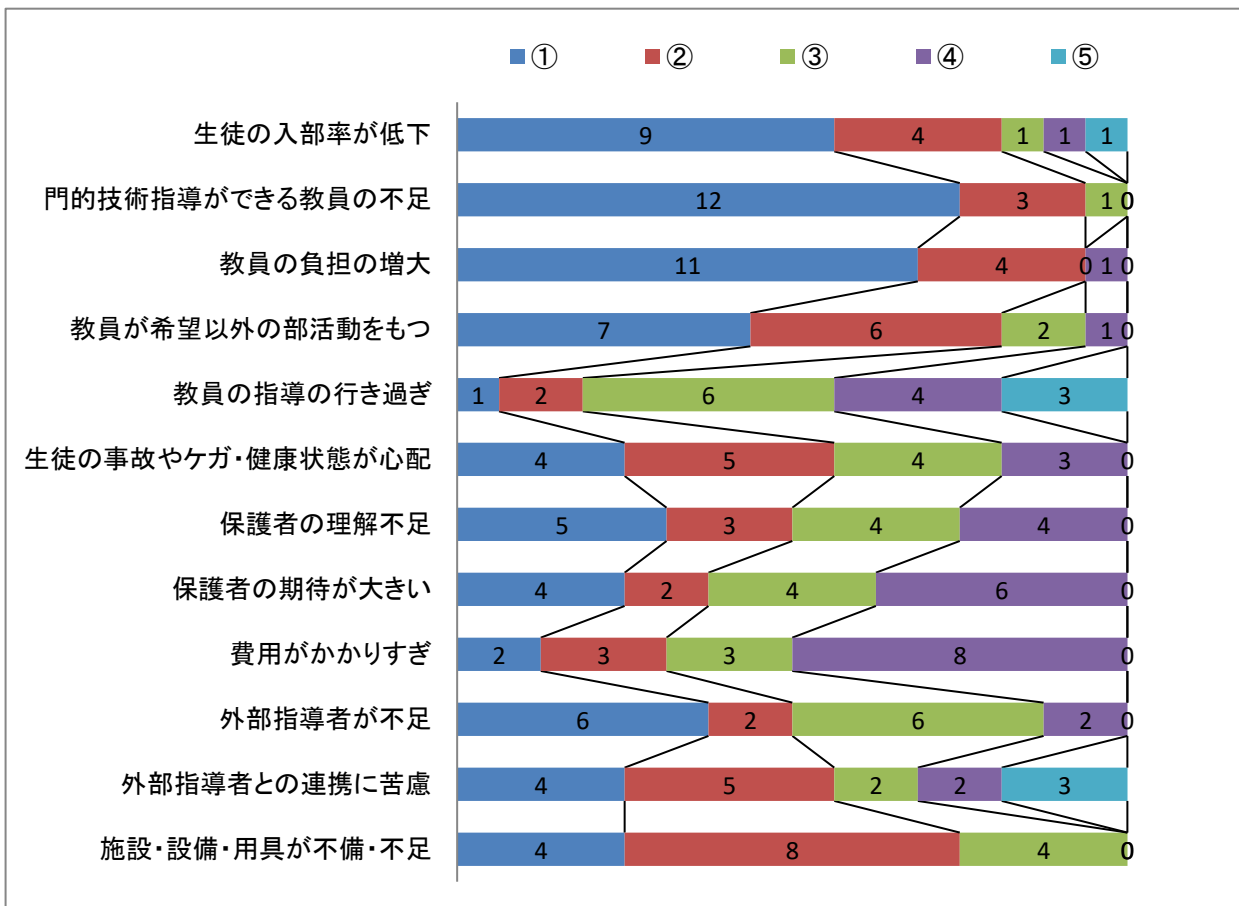
とても感じる	1
感じる	5
どちらとも言えない	6
感じない	3
全く感じない	1
その他	0



**問12 学校部活動の「問題点」について当てはまるものは?**

①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤そう思わない

	①	②	③	④	⑤
生徒の入部率が低下	9	4	1	1	1
門的技術指導ができる教員の不足	12	3	1	0	0
教員の負担の増大	11	4	0	1	0
教員が希望以外の部活動をもつ	7	6	2	1	0
教員の指導の行き過ぎ	1	2	6	4	3
生徒の事故やケガ・健康状態が心配	4	5	4	3	0
保護者の理解不足	5	3	4	4	0
保護者の期待が大きい	4	2	4	6	0
費用がかかりすぎ	2	3	3	8	0
外部指導者が不足	6	2	6	2	0
外部指導者との連携に苦慮	4	5	2	2	3
施設・設備・用具が不備・不足	4	8	4	0	0

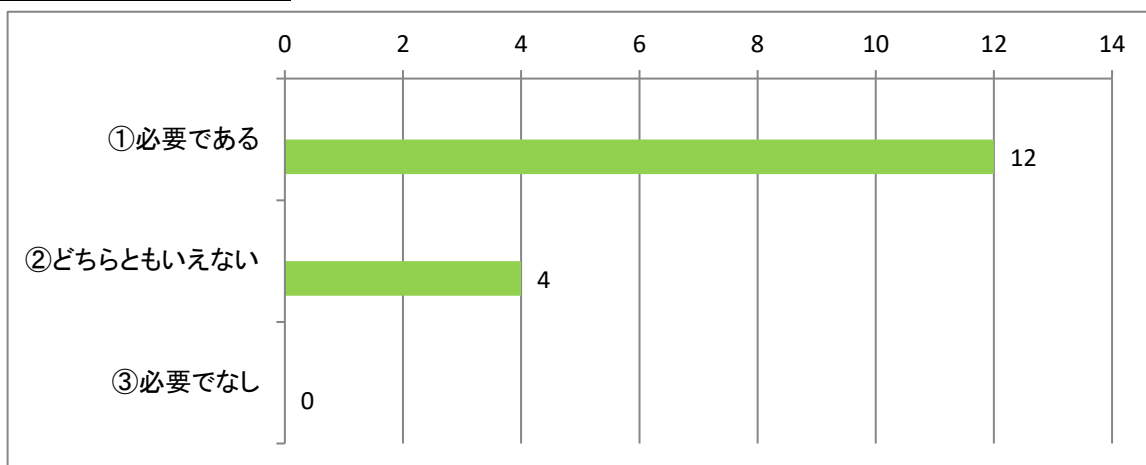


その他、日頃「問題点」として考えていること

- 学校の活動であるならば、明るいうちに下校させるべき。しっかり活動したい場合は、保護者の責任  
で費用を負担した上で社会体育・文化チームに所属すべきだと思う。教職員の中には、部活動指導  
が得意な人材が多いことは事実なので、自分の住んでいる地域の指導者として活動すると  
良い。(指  
導料は副業と見なさない)ただし、運動系の施設は外部管理ができるが、文化系の部活動の  
場合、校  
舎内の施設や備品を利用することが多いため、社会活動になると活動が下火になるのでは  
なり、国  
全体の文化レベルが下がると思う。
- 部活動指導が、教職員が行うべき業務なのか業務でないのか、線引きが曖昧であること。  
(以前から  
そうであったが、特に昨今の世論を踏まえても)
- 担当教職員の高齢化により、いつまでたっても交代できない。
- 先生方の負担が大きい点
- 学校の教員のボランティアで部活動が成り立っている。休日に自分の家庭を犠牲にして部活動の指  
導を行っている。現在の部活動は、「保護者は金を出さないが、文句は言う」ように、指導者  
への敬意

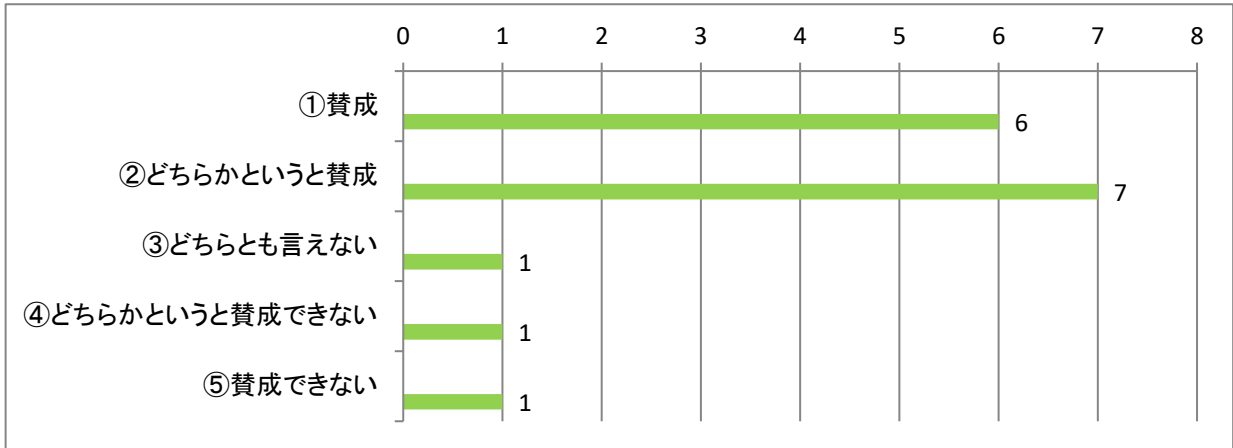
**問13 学校部活動における外部指導者の活用は必要であるか?**

①必要である	12
②どちらともいえない	4
③必要でなし	0



**問14 他校(長洲中)との合同チームとして練習や公式大会に参加することについてどう思うか?**

①賛成	6
②どちらかという賛成	7
③どちらとも言えない	1
④どちらかという賛成できない	1
⑤賛成できない	1



**⑤の「賛成できない理由」**

- ・保護者の理解がむずかしいから
- ・参加にあたっての責任の所在が曖昧だから

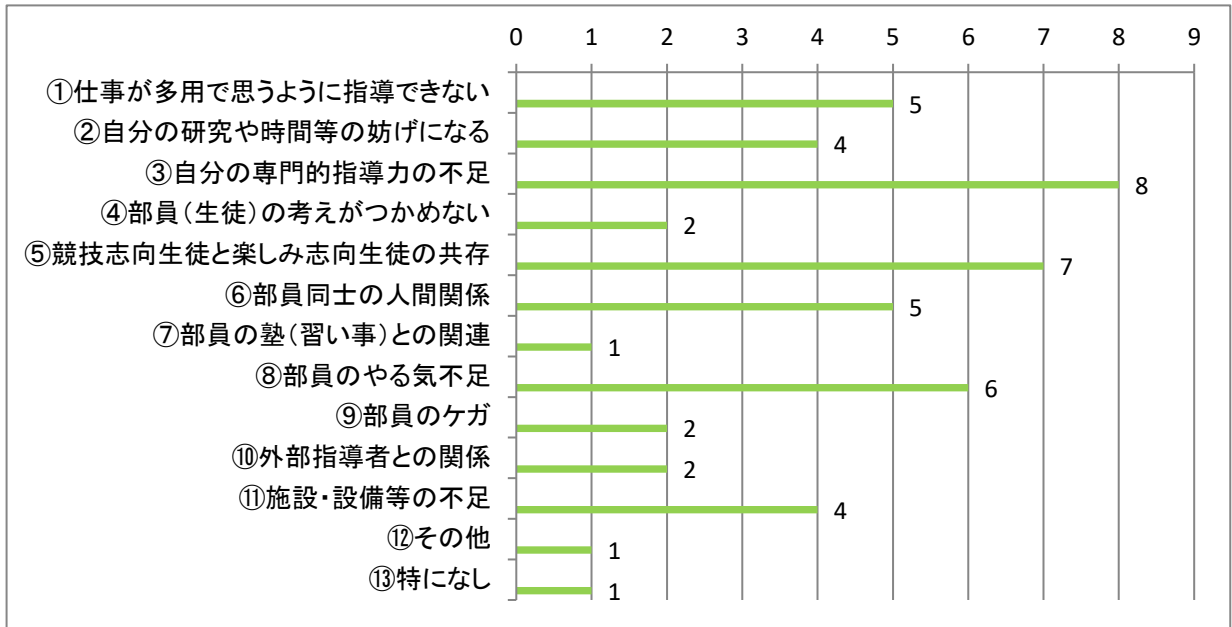
賛成できない教員2人の意見

**問15 部活動の指導での悩みは? (複数回答可)**

①仕事が多用で思うように指導できない	5
②自分の研究や時間等の妨げになる	4
③自分の専門的指導力の不足	8
④部員(生徒)の考えがつかめない	2
⑤競技志向生徒と楽しみ志向生徒の共存	7
⑥部員同士の人間関係	5
⑦部員の塾(習い事)との関連	1
⑧部員のやる気不足	6
⑨部員のケガ	2
⑩外部指導者との関係	2
⑪施設・設備等の不足	4
⑫その他	1
⑬特になし	1

**⑫その他**

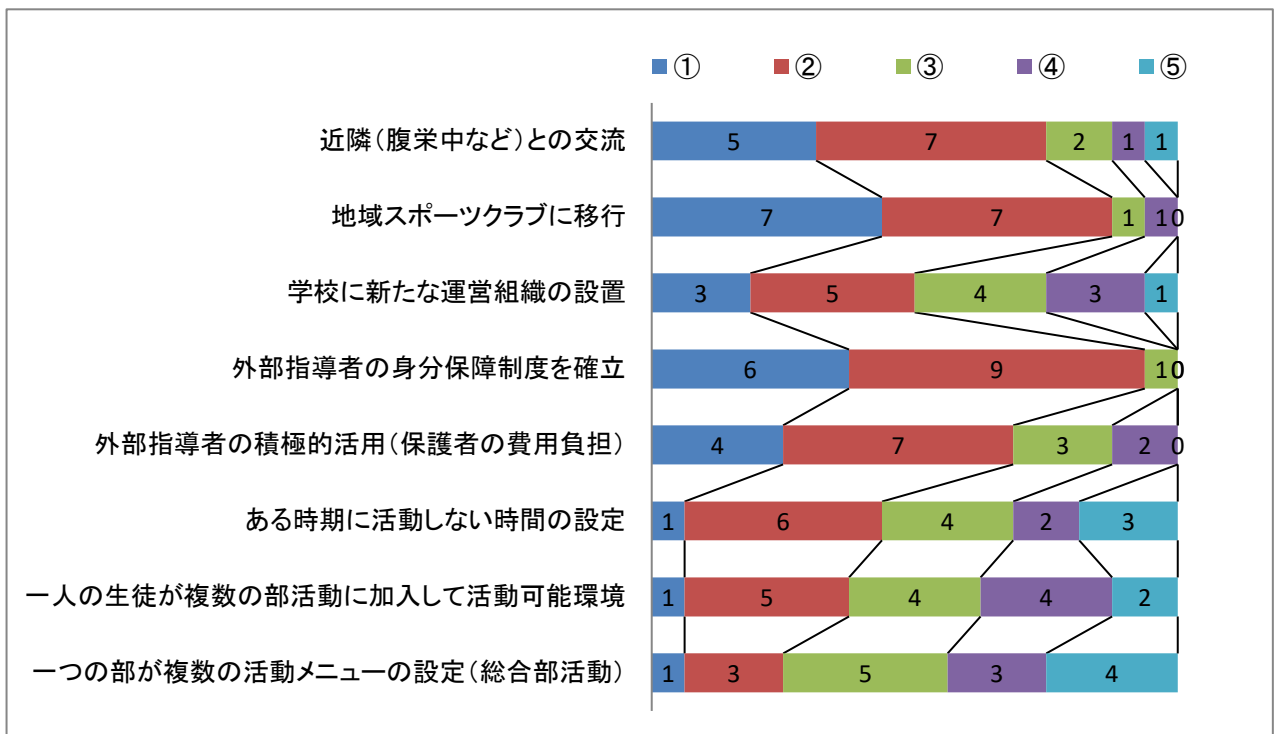
- 本来、勤務外の仕事であるのに、ほぼ対価がないこと。
- 保護者との関わり



**問16 学校部活動の「今後のあり方」に関して①～⑤で当てはまるものを選ぶ**

①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤そう思わない

	①	②	③	④	⑤
近隣(腹栄中など)との交流	5	7	2	1	1
地域スポーツクラブに移行	7	7	1	1	0
学校に新たな運営組織の設置	3	5	4	3	1
外部指導者の身分保障制度を確立	6	9	1	0	0
外部指導者の積極的活用(保護者の費用負担)	4	7	3	2	0
ある時期に活動しない時間の設定	1	6	4	2	3
一人の生徒が複数の部活動に加入して活動可能環境	1	5	4	4	2
一つの部が複数の活動メニューの設定(総合部活動)	1	3	5	3	4



⑨ その他、あなたが考えるスタイルがあればお書きください。

○ 部活動の指導そのものが、教職員の業務であるか業務ではないかという線引き？定義？を明確にする

ことが必要と考えます。その結果、業務であるとすれば、当然責任が明確になるとともに、それ相応の報

酬？給料？があるべきではないかと考えます。

○ 外部指導者がメニューを考え、平日は教員が指導を行う。土日は外部指導者が指導を行う。

○ クラブチームへ移行する。

○ 思い切って学校と切り離し、地域や自治体で運営する。これまで教職員の善意やボランティアで賄ってきた

た部分を費用面を含めて参加家庭や自治体で負担する。指導者が適正な報酬を得られるようにしてほし

い。

○ 学校部活動の今後の在り方については、まだ自分自身明確なものは、持っていません。すみません。

○ 部活動を学校の管理下に置きながら、土日だけ地域スポーツ等に移行するのではなく、平日の放課後も

含めて、地域スポーツ等に移行した形にすべき。また運営についても、学校や教員が行うのではなく、参

加者(加入者)が、施設や用具を含めて、費用を出し合って運営していくべき。

○ 部活動を生きがいにされている先生方もいるので、その先生方は積極的に関わっていいと思う。

家庭の事情などでできない場合は顧問からはずしてほしい。

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	熊本県南関町教育委員会 担当課：教育課 電話番号：0968-57-8507
------	--

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	1校	② 生徒数	552人	③ 部活動数	9部活
--------	----	-------	------	--------	-----

南関中学校では、令和4年12月現在、野球、陸上、ソフトテニス、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、卓球の7運動部活動に111人が入部し、加入率は約70%である。部費については、1,200円を「部活動振興会費」として、生徒一人あたり徴収し、町は、年間900,000円を部活動補助金として、学校へ補助している。また、学校は、720円を部員1人当たり活動費として支給している。

活動頻度について、1週間の練習日は、5日以内とし、平日1日以上、週末（土曜日及び日曜日）1日以上計2日以上を休養日とし、毎月第1日曜日は完全休養日としている。土曜日、日曜日、祝日に活動する必要がある場合は、生徒のバランスのとれた生活や成長からみて無理のない範囲で活動し、休養日を他の日に振り替えるなど適切に休養日を確保している。練習時間は、平日の練習時間は、長くとも2時間程度とし、土曜日、日曜日、祝日、長期休業日の練習時間は、長くとも3時間程度としている。

#### 1.2 地域における現状・課題

- ・ 本町には、4つの小学校と1つの中学校があり、令和4年度児童生徒の合計は570人、10年前の平成25年度と比べると、122人、うち中学校では78人の減少となっている。少子化の影響と比例し、学級数や教員数も減少している。このような中でも、部活動数は運動部8部、文化部2部と変わっていない。部活動数に変動がないので、少なくなった教職員が補わなければならない負担は増加し、適正な部活動の数となるように検討しなければならない。また、部員数も減少気味であり、種目によっては部活動の存続が困難となっている。
- ・ 指導する教職員へのアンケート調査では種目経験のない部活動顧問の割合が8割を占める反面、指導に対する高度な専門性が求められ、教職員の負担増が顕著である。
- ・ これまでの実践研究の中から、休日部活指導での責任の存在、施設利用時の管理体制の問題、指導者の選定及び保護者負担の問題等、具体的な対応が急務となっている。
- ・ 部活動指導については、地域スポーツ団体の南関町総合型スポーツクラブNPO法人A-life なんかんと連携し、バレーボール部、バドミントン部、卓球部、ソフトテニス部、バスケットボール部が活動している。今後、中学校部活動の地域移行が進むことで、更に他種目との連携も図り、生徒にとって充実したスポーツ環境を提供することが必要である。

#### 1.3 実践研究における取組目標

- ・ 指導の高度化や専門化への対応、生徒の多様なニーズに応じた指導及び教員の負担軽減等がなされたかの把握を行い、効果的な指導体制システムを新たに構築すること。
- ・ 保護者向けアンケートを行い、部活動の費用負担や、指導者確保などについて調査する。
- ・ 企業向けアンケートやヒアリングを行い、指導者確保について調査する。

#### 1.4 実践研究の運営体制

団体名	関わり方・役割
南関町教育委員会	事業実施主体（検討委員会の設置、地域部活動の体制づくり、指導者育成の検討等）
南関町立南関中学校	教育委員会及び顧問、指導者との会議を開催する。保護者への周知と理解を図る。課題を共有し、生徒への指導方針等の対応などを行う。
NPO法人A-life なんかん	指導者選考及び推薦。将来的な運営団体を想定している。検討委員会の委員も委嘱する。
久留米大学	地域部活動の構築への助言。指導者講習などの講師のほか、アンケートに対する分析と指導などを行う。

### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

#### I 検討委員会の開催（年4回実施）

保護者向け、企業向けアンケート内容について協議し結果について協議した。また、令和5年度予算について協議し、中学校での部活動の方針について協議した。

#### II 地域部活動指導者会議の開催（年5回実施）

実践部活動の外部指導者及び部活動顧問、管理職、町教育委員会により、部活動の課題や令和5年度の取組方法について協議した。

#### III 保護者向けアンケートを実施。部活動の費用負担や、指導者確保などについて調査する。後述の結果に示す。

#### IV 企業向けアンケートを実施。指導者確保について調査する。後述の結果に示す。

#### V 町広報紙による事業周知。地域指導者の募集を広く町民に周知する。

#### VI 保護者説明会の実施。今後の地域部活動移行について、指導体制や費用負担について生徒保護者への説明会を実施する。

#### VII 先進地視察研修の実施。令和4年度兵庫県体育・スポーツ科学学会秋季シンポジウムに参加。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	南関中学校 1校
② 実践研究に取り組んだ部活動数	2部活
③ 種目	陸上、バレーボール

#### ≪主な取組例（1） 南関町立南関中学校

① 運営主体	NPO法人A-life なんかん 南関町教育委員会		
② 種目	陸上	④ 参加者数	26人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	南関中学校グラウンド
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	会社員		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

#### ≪主な取組例（2） 南関町立南関中学校

① 運営主体	NPO法人A-life なんかん 南関町教育委員会		
② 種目	バレーボール	④ 参加者数	10人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	南関中学校体育館
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	会社員		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

#### 3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

##### ❖ 保護者の意見として（アンケート調査より）

休日の「地域単位」の部活動の場合、休日1日/週、平日4日/月の指導者に対する謝金について尋ねた。

① 1,000円…34.1% ② 2,000円…29.3% ③ 3,000円…17.1%との回答。

上記の結果となり、3,000円までとの回答が約80%となった。（自由記述については別添資料のとおり。）

##### ❖ 企業の意見として（アンケート調査より）

町内44社に依頼して32社から回答。従業員が中学校部活動を指導するため、時差出勤できるかについて尋ねた。

① 可能である（回答0社） ②可能ではない（回答20社） ③内容次第（回答12社） …可能と回答の会社は0社。

企業の率直な意見として、部活動指導者を派遣することは難しい。具体的には、①一般認識として終業後の部活動。これが、企業にとっては、最重要課題。学校で「働き方改革」が叫ばれているように、企業でも、長時間労働の削減や、賃金の引き上げ、テレワークの導入推進など、国からの指導が多くあり厳しい状況。②企業へのメリットとして、金銭面等の措置を設けるなど国政が連携したシステムを作る。企業としても、「町に協力したい！地域貢献したい！」という強い思いを仕組みづくりから検討することが重要ではないか。（詳細については別添資料のとおり。）

#### 3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・ 学校管理下での指導場所の管理について、特に学校職員以外での施設問題。学校セキュリティの根本的な対応を検討していきたい。
- ・ 部活動に対する生徒のニーズへの対応。競技種目ごとの取り組み方の姿勢として、競技力を高めるスポーツとコミュニケーションスポーツの捉え方。部活動の趣旨（学習指導要領）を再確認し、限られた指導者の中で主体である子どもたちのニーズに応えるため、検証課題を県・国へとつないでいきたい。
- ・ 長年築かれてきた「部活動は学校で行うべきもの」という意識の中で、費用負担の問題はとても慎重で丁寧な説明が必要となる。経済面等により部活動に参加できない場合の対応がシビアな問題。就学援助費給与項目の周知の共有。
- ・ 責任の問題点として、現存のスポーツ保険で対応できない部分への補償。新たな「指導者保険」といった、今後の地域指導者向けに需要のあるスポーツ保険制度創設の必要性。
- ・ 指導方針から、競技力を高める以前に指導者と生徒の信頼関係が部活の大きな趣旨であることから、教職員と今後の地域指導者との密な連携無しでは成り立たない現実がある。
- ・ 指導者の確保の面から、指導者バンクや認定指導者スポーツ制度を活用しているが、小規模の自治体ではスポーツの専門性・多様化もあり、マンパワー不足が現実なところ。自治体単位から教育事務所単位、或いは区分した県単位など、広域化した取組も必要。

## 4. 実践研究の成果と今後の課題

### 4.1 実践研究での検証から得た成果

指導員の指導実績については、下表のとおり。

(単位：時間)

指導者	種目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
A	陸上部	3	5	13	5	6.5	3	6	2	3	22	16.5	85
B	バレー部	24	12.5	23	22	9	9	19	18	3	12	6	157.5

また、保護者向けアンケートや企業向けアンケートを通して、以下2点の課題が明確になった。

#### ① 指導者確保の課題（部活動の時間帯をどうするか。）

地域部活動において、専門性を有する指導者の確保が課題である。このことから今回、企業向けアンケートやヒアリングを通して、指導者確保に向けて取り組んだ。その中で、部活動の時間帯について大きな課題となった。夕方からの部活動だと、どうしても勤務時間と重なり、指導者確保が困難になる。しかしながら、夜から始まる部活動になると、部活動加入率が低くなる。そのメリット・デメリットを勘案し、教員と生徒、指導者が満足の行くような部活動とすることが課題である。

#### ② 金銭面の課題（費用負担の線引きをどうするか。）

本町の現状では、献身的で熱意のある外部指導者に恵まれている。しかし、多くがボランティアに近い状況で指導をされており、持続可能性について考慮すると、現在の指導者が世代交代する際は、確保が困難になる。また、指導者への謝金は必要不可欠であるが、町財政と保護者負担の線引きをどうするかが、課題となる。

### 4.2 地域移行における今後の課題と対応

#### 【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

コーディネータ1名を配置し、関係団体と中学校との連絡調整を行う。特にバドミントン部をモデル部と定め、外部指導者とコーディネータ、学校、行政が連携をしながら、休日と平日を含めた地域部活動移行を目指す。その後、他部活動においても、そのノウハウを波及させる。また、中学校部活動検討委員会を年4回程度行い、地域移行に向けた協議を行う。併せて、県スポーツ協会や大学などから講師1名を招聘し、年1回程度指導者研修会を実施する。

#### 【地域移行の自走化に向けた方策】

本町では、令和8年度から部活動を完全に地域移行することを目標に、生徒、保護者や外部指導者、教職員へ継続的に説明を行う。そのため、令和5年度は、モデル部としてバドミントン部を完全に総合型地域スポーツクラブへの移行を目指す。なお、他の部についても、休日は教員が指導を原則行わないよう徹底をする。その取り組みの中で発生した課題について、会議などで検証し解決策を模索する。そのノウハウを生かし、令和6年度移行、他部活動についても完全地域移行を進めることを目標とする。また、指導者への謝金が必要になるが、保護者費用負担と町財政の「バランス」について検討し、理解を得られるような費用負担を決定していきたい。

また、実証事業の取組項目を通して、コーディネータを総合型地域スポーツクラブに委託し、今まで教員が担ってきた業務（登録事務、保険事務）を行い、教員の業務負担軽減を目指す。

#### 【指導者の質の保証・量の確保】

南関中学校の運動部活動に対して、総合型地域スポーツクラブの外部指導者を配置し、地域クラブでの専門的な指導を行う。中学校の運動部活動（5部活）において全てに外部指導者を配置し、休日の部活動に原則教員が指導しないように、取り組んでいく。また、年6回程度、地域部活動指導者会議を開催し、担当教諭、外部指導者、行政の連携を図る。また、量の確保として、令和4年度に引き続き、町内企業に対し指導者の派遣について周知を行う。

#### 【面的・広域的な取組と内容の充実】

当面は隣接する和水町と連携し広域的な取組を検討する。特にバレーボール部では部員数が足りず、単独での大会出場ができない状況にある。総合型地域スポーツクラブへの加入など課題も多いが、打開策を検討する。また、トップアスリート等を招聘し、スペシャル部活動を年1回程度実施する。

#### 【困窮世帯への支援方策】

扶助費の支給については教育委員会会議の決定事項。現在、給与項目の「クラブ活動費」は小・中学校共に対象外としている。今後は本事業に係る現状と必要性を把握しながら会議に諮っていきたい。

#### 【受け皿団体の確保方策】

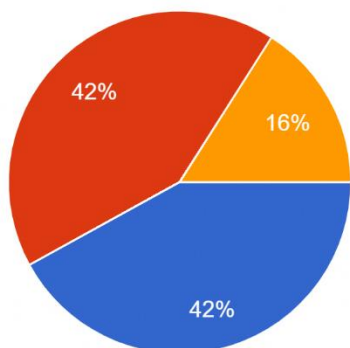
総合型スポーツクラブ NPO法人 A-life なんかんを核とした運営団体とした、会議や登録事務の他、引き続き検討委員会の委員も委嘱すると共に、コーディネータを配置し、学校と地域指導者の架け橋となることを想定している。



# 保護者向けアンケート結果

子どもさんの学年は？

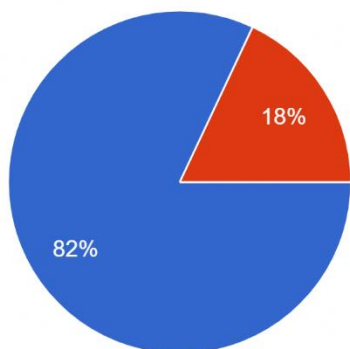
50件の回答



- 1年生
- 2年生
- 3年生

部活動に所属していますか？

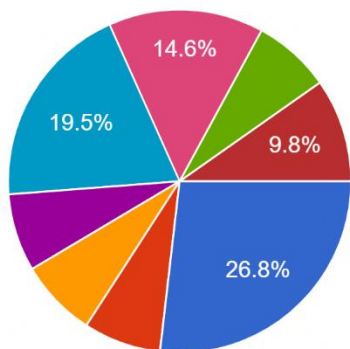
50件の回答



- 所属している。
- 所属していない。

どの部活動に所属していますか？

41件の回答

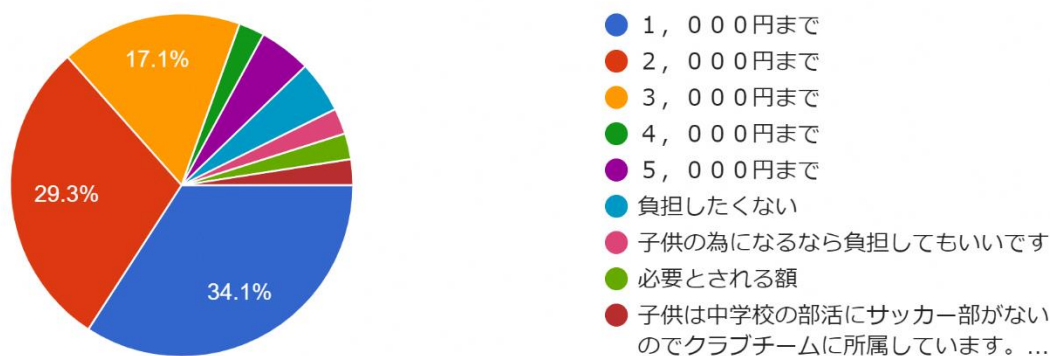


- 陸上競技部
- 軟式野球部
- ソフトテニス部
- バレーボール部
- 卓球部
- バドミントン部
- バスケットボール部
- 吹奏楽部
- 美術部

今までの「学校単位」の部活動は、教職員の支えにより、指導料が生じず、部活動費が比較的低額になっていました。しかし、休日の「地域単位」の部活動の場合、地域指導者への謝礼金、施設使用料、保険料などの費用が発生し、部活動費の金額が上がるのが想定されています。このことを踏まえて次の問いです。

休日の地域部活動に係る費用（指導者への謝礼金...すか。休日の週1日、月4日を想定しています。

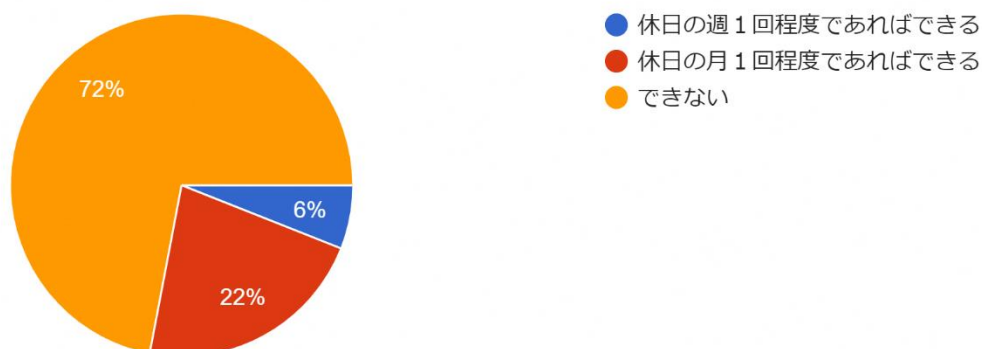
41件の回答



今まで、教職員の指導で成り立ってきた「学校単位」の部活動を、「地域単位」の取組とするには、「地域指導者をどう確保するか」という大きな課題があります。町では、指導者の確保のために、部活動指導に興味のある方と中学校をマッチングする仕組みを検討しています。このことを踏まえて次の問いです。

休日の部活動の指導やサポートに協力できますか。（個人が特定されることはありません。）

50件の回答



部活動が地域に移行することについての思いや意見などがあればご記入ください。(自由記述)

--

試合等の調整や、今まで試合運営に先生方が入られてましたが、それも保護者がすることになるのか？仕事もあり、保護者の負担が増えるのはあまり嬉しくない。ただ、子どもの事を考えると部活動はあって欲しいので複雑です

今ある部活の全てに、地域から指導してもらえる人がいるのかが疑問です。指導者がいなければ、廃部になることもあるのでしょうか？

そうなれば、その部に入っている子達がかわいそうです。

指導者への謝礼金は必要だと思います。しかし、部員の人数の多い少ないで保護者の負担の差があれば、好きな部活へ入れなくなる子も出てくると思うので、行政からの補助などにも必要になるのではないかと思います。

睡眠時間が少なく朝食も食べれずに朝練に行ってるので朝練をなくしてほしい。

睡眠時間がないと学校生活に負傷が出るからなくしてほしい。

学校での部活動に関して、いろいろな問題点があるのは承知していますが、個人的には地域への完全移行には懐疑的な立場です。

特に憂慮する点は

①地域活動とした場合、指導者の量的、質的な確保の難しさがあること

②地域活動となった場合、家庭の状況等によっては学校での部活動に比べて入部しにくいという状況が生まれるのではないかという懸念があること

の2点です。

指導者や練習場所が確保出来るのであれば問題ないと思う。ただ、平日と休日で指導者が変わることによって指導方法が異なるとき子どもたちが戸惑うと思うので、統一してもらえればよいと思う。

地域に移行すると学校との連携やいろいろと大変な事もあるかと思いますが、子供達が部活動を通して学んだり楽しめる環境を作ってあげてほしいです。

出来るだけ早く移行して頂きたく思います。担当の先生のレベルの低さに、失望させてます。

地域に指導者がいらっやって、顧問の先生との連携がとれていけば地域に移行してもいいと思います。

大会や練習試合等の休日の活動はどうなるのか等の問題はありますが。

小学生の時にもエーライフを通じてスポーツをしていたので中学生もそのように学校外で行うことは私自身は苦ではない。

文科系の部活が無くなるのが心配です。スポーツが苦手な子どもの活躍の場があっても良いと思う。

いいことだとは思いますが、大会や試合の引率は学校側からも出て頂いた方が安心します。

地域に移行すると、入会金と月謝が発生するので、強制参加ではなく自由参加を必須にしてほしい。練習時間も夜だと送迎になるため時間厳守でお願いしたい。強い弱いは関係なく、レベルに合った指導をして欲しい。